

## 第二回「渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会」を実施しました

第二回では、まず、建て替え準備委員会メンバーにも御参加いただいた「渋谷区立渋谷本町学園」の視察の情報共有や、第一回建て替え準備委員会の振り返りを行いました。続いて、現在の基本計画フェーズは、竣工までの全体の流れの中で初期段階であること、頂いたご質問やご意見は、各フェーズで適切に対応していくことをご説明いたしました。その後、小中一貫教育校の必要諸室の案についてのご説明、建て替え予定敷地の洪水ハザードマップの確認、一足制のメリットやデメリットについての意見交換を行いました。

今後、皆様と情報共有・意見交換を重ねながら、新しい学校づくりを進めていきます。

発行年月日：令和7年3月19日  
 発行者：渋谷区教育委員会事務局  
 住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号  
 問い合わせ先：電話：03-3463-2795 Mail：sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

### R6.12.10 第二回委員会 議題

①建て替え準備委員会スケジュールについて

②渋谷本町学園視察について

③第一回建て替え準備委員会の振り返り

④必要諸室について

⑤意見交換

### 小中一貫教育校の必要諸室について（学校の規模設定） 2024.12.10 小中一貫教育校 建て替え準備委員会資料

部門	主な諸室	概ねの面積(㎡)
普通教室等	普通教室（小学校3クラス×6年＝18室、中学校3クラス×3年＝9室）、少人数教室(9室)、特別支援教室など	約4,030
ラーニング・コモンズ	図書スペース、オープンスペースなど	約1,080
特別教室等	理科室(小・中)、図工室(小)、美術室(中)、技術室(中)、音楽室(小・中)、家庭科被服室・調理室(小・中)、各準備室、フューチャールームなど	約1,510
管理諸室等	校長室、応接室、職員室、事務室、職員会議室、生徒会室、地域開放室、PTA室、放送室、保健室、サポートルーム、学校管理室、校歴保管庫など	約1,670
給食関係諸室	調理室、事務室など	約680
体育施設等	体育館×2、武道場、用具倉庫、屋内プール、開放管理室、備蓄倉庫など	約3,720
放課後クラブ	放課後クラブ室、放課後クラブ事務室など	約280
共用部	廊下・階段・機械室など	約3,890
<b>合計面積(㎡)</b>		<b>約16,860</b>

### 渋谷区立渋谷本町学園視察について

#### <基本情報>

平成24年4月開校  
 創立13年目  
 児童生徒数 897名  
 （小学校671名、中学校226名）  
 学級数 34学級  
 （小学校26、中学校8）特支含む  
 教職員数 120名

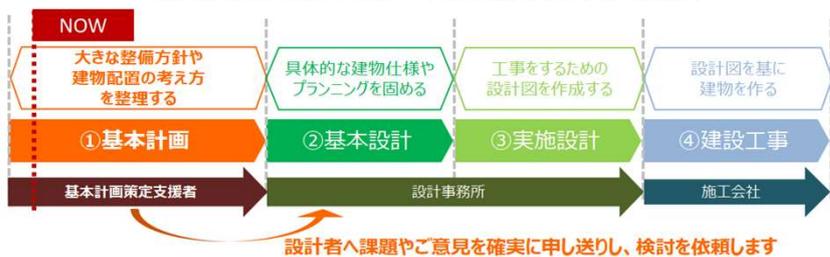
#### <小中一貫教育の取組み>

- ・5・6学年の50分授業
- ・5・6学年の一部教科担任制（英語、理科、家庭科、音楽）
- ・中学校教員による5・6学年授業への一部交流（美術、音楽、体育、外国語）
- ・部活動の小学校5年生から参加
- ・朝礼（全校朝礼、ブロック朝礼、校種別）
- ・新1年生を迎える会
- ・1年生と9年生の交流
- ・運動会（午前 初等部、午後 中・高等部） 初等部は6年生が運営スタッフとして参加



視察風景

建て替え準備委員会にて出た“計画に関わる各ご質問やご意見”は、事務局側で整理し、各フェーズで適切に対応していきます。



**洪水ハザードマップ**

2024.12.10 小中一貫教育校 建て替え準備委員会資料

設計として、昇降口以下駄箱は設置しない。  
 ・運用方法は各学校に合わせて、教職員・児童生徒を交えて検討していく。

**主なメリット**

- ・下記のようなメリット・デメリットを踏まえて、教室での移動を収容エリアなどの外部空間にも活用し、より多様な活用が期待できる。
- ・中・高学年と低学年を区別し、1階の授業室や中・高学年活動室とする。
- ・体育館等に多目的な活用が期待できる。体育館や多目的室を併設する。
- ・内外のさまざまな用途に活用し、日間的な柔軟な対応が期待できる。
- ・多目的な活用が期待できる。

**安全性の向上**

- ・防災・災害発生時等に活用し、避難の場や避難経路の確保が期待できる。
- ・防災・災害発生時等に活用し、避難の場や避難経路の確保が期待できる。

**利便性の向上**

- ・児童生徒の利便性を向上させる。
- ・児童生徒の利便性を向上させる。

**その他**

- ・併設した施設は、必要に応じて活用が期待できる。

**主なデメリット**

- ・体育館等の活用が期待できるが、活用が期待できる。
- ・体育館等の活用が期待できるが、活用が期待できる。

**対応策（一例）**

- ・体育館等の活用が期待できるが、活用が期待できる。
- ・体育館等の活用が期待できるが、活用が期待できる。

建て替え事業完了までの流れと現時点の位置付けについて

一足制について

渋谷区では建て替え準備委員会にて頂いた意見を整理するとともに、ニュースレターを通じて進捗に関する情報発信とご意見をいただく機会を作っています。これからも引き続き、より良い小中一貫教育校を目指して委員会を開催していきますので、今後とも宜しくお願いいたします。

	質問	回答
渋谷本町学園視察について	渋谷本町学園を視察した際、職員室や保健室が狭いと感じました。今回、小中一貫教育校を作る際は、余裕を持ったつくりとしてほしいです。	職員室や保健室などの諸室は、適切な広さを確保するように計画します。また、職員室はフリーアドレスやペーパーレス化を進めていきます。その他の部屋についても、児童・生徒や教職員にとって居心地の良い空間となるよう整備していきます。
	普通教室の数について、渋谷本町学園のように、今後児童・生徒数が増加した場合はどのように対応するのでしょうか。	子どもたちが長い時間を過ごす普通教室に加えて、各学年ごとに普通教室にも転用できる少人数教室を1室設ける想定をしており、児童・生徒数の増加に対応できる計画としています。
必要諸室について	1階に避難スペースを設けるなど、災害時に避難しやすい施設を設計してほしいです。	防災については、避難生活の長期化や配慮の必要な方の避難も想定しています。仮に、体育館が1階ではなく、上層階にできる場合でも、1階にも避難できるスペースを確保するなどの対策を行います。また、備蓄倉庫についても、区防災部門と連携し、必要な大きさや適切な位置を考え整備するなど、災害時の避難所としての機能を十分に確保していく計画とします。
	必要諸室リストに記載されている「校歴保管庫」とは、どのような使い道の部屋になるのでしょうか。	「校歴保管庫」は、展示が難しい資料などを保管するために設けています。一方で学校の歴史等は、ラーニング・コモンズなど、児童・生徒が日常的に過ごす空間にデジタル展示などを行い、身近に触れ合える環境を作っていきたいと考えています。
地域開放について	学校を地域開放していく場合、安全性が心配です。どこからでも出入りができるつくりになると、誰でも校内に入ってこられるようになるのではないのでしょうか。	地域開放利用者が敷地に入る際の入口を一箇所に絞ることや、地域開放エリアと学校エリアの動線を分離すること、カードキーなどにより登録された利用者のみ入室を可能にすることなどの対策を行い、児童・生徒の安全を確保します。
	建て替え後も、これまで通り地域のイベント等で校庭を使用することはできるのでしょうか。	新しい学校では、学校教育に支障のない範囲で、施設を開放していく方針としています。地域のイベント等については建て替え後も実施ができるように、管理・運営面を含めて地域とご相談していきます。

建て替え準備委員会にて頂いたご意見に関しては、今後もQ&Aという形でご回答をまいります。

貴重な多くのご意見をもとに、より良い学校になれるように検討を進めてまいりますので、今後とも宜しくお願いたします。